

第 28 回 専門日本語教育学会総会および研究討論会

日時： 2026 年 3 月 6 日（金）

受付： 9:30-

研究討論会 10:00～17:40（シンポジウム・口頭発表・ポスター発表）

総会 13:45～14:10

会場： 大阪大学豊中キャンパス 大学会館

シンポジウム、総会、論文賞発表、口頭発表： 2 / 3 F 講堂・2 F セミナー室 1

ポスター発表： 2 F アセンブリー・ホール

ランチ交流会： 2 F アセンブリー・ホール

共催： 大阪大学国際機構国際教育交流センター（CIEE）

【プログラム】

□ 開会の挨拶 10:00～10:10 講堂

開催校の挨拶： 有川友子 国際機構長（大阪大学）

開会の挨拶： 石黒圭 会長（国立国語研究所）

会場諸注意： 福良直子 実行委員会副委員長（大阪大学）

■ シンポジウム 10:15～11:15 講堂

「専門日本語教育とは何か」

（司会：石黒圭_国立国語研究所）

専門日本語教育の定義

石黒圭（国立国語研究所）

専門日本語教育学会の理念

村岡貴子（大阪大学）

専門日本語教育研究の歴史－これまでの歩み－

野田岳人（群馬大学）

専門日本語教育学会の未来－これからの展開－

生天目知美（東京海洋大学）

■ 口頭発表① 11:25～11:55 講堂

（①②司会：ポボヴァ・エカテリーナ_関西大学）

① 大学院留学生の個別研究指導場面の談話実態の考察

田鉦（一橋大学大学院生）

■ 口頭発表② 12:00～12:30 講堂

② 日本語教材と比較したビジネス日本語教材の特徴について

－「クレーム」「苦情」に着目して－

池内優香（大阪大学大学院生）

■口頭発表③ 11:25～11:55 セミナー室 1

(③④ 司会：前川孝子_日本大学)

③ 中国の大学入学試験に備える高校の日本語教員が持つ作文教育観 — 広東省の教員の事例をもとに —
REN LIAN (大阪大学大学院生) ・ 村岡貴子 (大阪大学)

■口頭発表④ 12:00～12:30 セミナー室 1

④ 専門課程につながる読書教育プログラムの開発：人文系学部留学生を対象として

脇田里子 (同志社大学)

ーランチ交流会【於：アセンブリー・ホール】ー 12:40～13:30

○ 論文賞発表 13:35～13:45 講堂

進行・講評：俵山雄司 編集委員会委員長 (名古屋大学)

○ 総会 13:45～14:10 講堂

進行：生天目知美 代表幹事 (東京海洋大学)

■ ポスター発表(1) 14:15～15:10 アセンブリー・ホール

進行：菊池和徳 (大阪大学)

1 反転授業用のビジネス日本語教材の開発

中川健司 (横浜国立大学) ・ 鈴木綾乃 (横浜市立大学) ・ 河瀬恵子 (東京経済大学)

2 文系中国人大学院生の日本語アカデミック・ライティングにおける生成 AI 使用不使用の
判断プロセス

大島弥生 (立命館大学) ・ 三井久美子 (立命館大学)

3 縦断調査への参加継続を支える学習者の調査に対する認識 — S-CoLeJa 調査を事例に —

須賀和香子 (総合研究大学院大学大学院生) ・ 呉 楚琦 (一橋大学大学院大学院生) ・

橋本宜子 (国立国語研究所) ・ 布施悠子 (国立国語研究所・共同研究員)

石黒圭 (国立国語研究所)

4 生理学の科目学習に必要な動詞の抽出と類型化に向けた一考察 (国家試験と教科書総論部分の
出現語彙の対照から)

河住有希子 (日本工業大学) ・ 藤田恵 (日本国際教育支援協会) ・ 川村よし子 (元東京国際大学)

5 外国人日本研究者は古典日本語教材に何を求めているか

— 母語話者向け教材で学んだ学習者へのインタビューの分析 —

山口真紀 (日本大学)

- 6 ライティング支援に携わるチューターによる論文作成の経験則
 —様々な専門領域で研究する大学院生を対象としたインタビュー調査から—
 トンプソン美恵子（東京大学）
- 7 大学院授業におけるテキストディスカッションの有効性についての検討ーテキストディスカッション
 アプリ「Logostellation」の大学院ゼミナールにおける実践例を通じてー
 浦野歩（国立国語研究所）
- 8 聞き手を意識した内容伝達活動において日本語母語話者は何に気づいたか
 —「国語応用演習（表現）」と「専門ゼミⅠ」の実践より—
 鈴木秀明（目白大学）・木下謙朗（龍谷大学）
- 9 自動車整備士国家試験の漢字調査ー「簡単な漢字」＝「簡単な語彙」なのか？ー
 日暮康晴（長崎大学）
- ポスター発表（2） 15:15～16:10 アセンブリー・ホール 進行：藤原京佳（大阪大学）
- 10 栄養学概論教科書の漢字・語彙調査
 多田苗美（昭和女子大学）
- 11 非漢字圏学習者は漢字学習をどう捉えているかーPAC 分析による意識構造の探求ー
 高柳真理（城西国際大学）
- 12 特定技能工業製品製造業分野2号取得要件の学科試験教材の語彙の検討
 —有効なキャリア支援のために—
 星摩美（公立小松大学）
- 13 外国人介護福祉職の支援者向け研修が促したもの
 一点から線・面への思考変容ー
 木下謙朗（龍谷大学）・丸山真貴子（目白大学）
- 14 交換留学生を対象とした国際共修科目における会話活動のあり方
 —テーマ提示型活動と場面設定型活動の実践から—
 正宗鈴香（大東文化大学）
- 15 漢語サ変動詞の辞書記述に接辞サセルで他動詞になる旨を加筆する提案：
 日本留学試験（EJU）の読解問題コーパス（林2022）の語彙を使用して
 金谷 由美子（大阪大学他非常勤講師）

- 16 「高専留学生の実験レポートの書き方」教材の練習問題に対する留学生の AI 使用状況とその考察
山田朱美（津山工業高等専門学校）・立間淳司（津山工業高等専門学校）・
加藤学（津山工業高等専門学校）

- 17 芸術専攻の大学生に必要な日本語力とは何か
—「作品をデザインし、制作する」分野の専門教員へのインタビューから考える
込宮 麻紀子（文化学園大学）

- 18 外国人留学生のための日本語教材としての新聞記事の可能性
諸賀沙織（福岡女学院大学）

■ 口頭発表⑤ 16:15～16:45 セミナー室 1 (⑤⑥司会：湯浅千映子_大阪観光大学)

- ⑤ 美術系の大学院生は書く場面にどのような語彙を使用しているか
—グラフィックデザイン専攻の修了論文作品集を対象に—

徐心妍（一橋大学大学院生）

■ 口頭発表⑥ 16:50～17:20 セミナー室 1

- ⑥ ベトナムにおける「法学日本語教育」を支える日本語教師養成のあり方

加藤淳（名古屋大学）

■ 口頭発表⑦ 16:15～16:45 講堂 (⑦⑧司会：堀一成_大阪大学)

- ⑦ 引用スキル発達の可視化モデル ACDM の提案

—初学者から研究者レベルまでを対象とした体系的診断を目指して—

中村かおり（拓殖大学）・向井留実子（愛媛大学）・近藤裕子（山梨学院大学）

■ 口頭発表⑧ 16:50～17:20 講堂

- ⑧ 辞書としての生成 AI の可能性と限界

—学習者の検索未達成事例にたいする ChatGPT-5 の回答の分析—

吉甜（国立国語研究所）・李琦（国立国語研究所）・石黒圭（国立国語研究所）

- 閉会の挨拶および次期開催校紹介 17:30～17:35 講堂

生天目知美 代表幹事（東京海洋大学）

- 学会事務局連絡 17:35～17:40 講堂